エピゲノム×AIによる老化測定

イブニングセミナー3

日 時

11.5 (木)
17:00 ~ 18:00

会 場

第2会場
琉球ホテル&リゾート名城ビーチ
Grandballroom C 北棟2階



座 長
門松 香一
昭和医科大学藤が丘病院
形成外科 主任教授



演 者
八谷 剛史
順天堂大学 創造長寿医学講座
Epigenetic AI 執行役員
チーフサイエンティスト

セミナーについて

見た目年齢は暦年齢とは独立に生存を予測する老化指標であり、美容外科が扱う外見の若さは健康と不可分である。一方、見た目年齢とエピゲノム年齢は加齢の異なる側面を捉えることが報告されており、外見に加えて体内の老化を客観的に測る意義は大きい。

Epigenetic AI株式会社（当社）は、エピゲノム（DNAメチル化）×AIによる精密予測医療の確立を通じて、健康長寿社会の実現を目指している。エピゲノムは可逆的であり、解析に基づいて介入をパーソナライズし、一定期間後の再解析で効果を確認するサイクルの反復が、健康寿命の延伸に繋がると考えている。

本セミナーでは、生物学的年齢を測定するEMA Ageと、介入のパーソナライズに用いるEMA Indexを紹介する。EMA Ageは日本人データを用いて構築し、40〜69歳の男女12,068名を20年以上追跡したJ-MICC佐賀地区前向きコホート研究で、既存の最先端モデルを上回る死亡予測精度を示した。EMA Indexは臓器別生物学的年齢と機能別スコアから構成され、顔面老化の促進因子として知られる喫煙や酸化ストレスに対応するスコアも含む。

両モデルは当社の検査サービス「未病AIドックEMA Test」に実装され、提携医療機関を通じて受診者に提供している。